

みちのく

ココロとカラダの癒し旅

秋田県皆瀬村 小安峡温泉・大湯温泉

山あいの温泉郷で”今どき湯治の旅“を楽しもう

小安峡温泉

現在の小安峡温泉は、藩政時代に秋田領と仙台領を結んでいた小安街道の中間に湧いた温泉だ。そのため、両領往来の中継地として、また近隣の人々の保養の場として、四百年ほどの昔から親しまれてきたものだった。昔

も今も、交通の便は決して優れてはいないのだが、秋田藩主や佐竹南家の奥方ははるばる湯治に訪れた記録が残っていることから察するに、小安の湯の評判は古くから知られたものであったようだ。観光というよりも、「ちょっと

湯治にでも」といった気分で出かけてみたくなる温泉だ。今回は小安峡温泉と隣接する大湯温泉からオススメしたい宿を紹介しよう。

小安峡の深い峡谷。岩の割れ目から激しく熱湯と水蒸気が噴き出す「大噴湯」

◆旅館 多郎兵衛◆

土地の珍しい食材のオンパレード

当主で十二代目となる小安でも最も老舗の宿の一軒だ。パンフレットには昭和初期のころとおぼしき木造三階建ての湯治宿時代の写真が紹介されているが、現在は近代的な温泉旅館のたたずまい。

広々とした大浴場で無色透明な単純温泉のきれいなお湯を楽しんでもらいたいのと言うまでもないが、この宿の一番の魅力は食事の内容にある。なにしる二百年余りも続く宿だから、宿の周りの山野でどんな山菜やキノコが採れ、川でどんな魚が釣れるかを、

宿の人たちは知りつくしている。その、土地の自然の恵みを旅行者に味わってもらいたいというのが、この宿の一番の「思い」なのだ。宿の人たちは、女将を中心に自分たちで山に入っていくと山菜やキノコを採ってきて新鮮なまま、あるいは手間ひまかけて加工して、夕膳タテマシにのせる。「ぬきうち」という、ブナの木に生えるきわめて希少なキノコがあるのだが、これを食べるのはこの宿だけではないだろうか。ありきたりな旅館料理に飽きたら、ぜひ一度訪れてみたい宿だ。



館内には女将の妹さん手作りの布クラフト作品が飾ってある



広い大浴場。露天風呂へは太鼓橋を渡って…



当主で12代目という老舗の温泉旅館「多郎兵衛」

昭和五十四年の創業時は客室わずか三室だったが、年々増築を重ね、昨年新たに四室増やして全十三室の宿になった。客室や浴場、露天風呂がゆつたりしていて料理もおいしいと評判で、特に女性客に人気が高い。

館主が木にこだわりを持つ人で、全館に上質の木材を惜しみなく使った骨太な「木の館」のたたずまいが、この宿のしつとりと落ち着いた雰囲気と拍車をかけている。特に昨年増築した部分は、いわゆる「隠れ宿」的な大人好みの渋い味わいにあふれている。中でも唯一のメゾネットタイプである「どうだんの間」は、一階に十畳の和室とトイレ・専用内風呂があり、二階が寝室に

親しい人と連れ立ってのんびりと

◆元湯くらぶ◆

左から、イワナの卵、山ワサビ漬、蜂の子、イワナの稚魚甘露煮



ソバの実の蒸物



女将手作りの漬物



「ぬぎうち」という名のキノコの味噌漬。この宿だけの珍味



冬は雪見風呂が味わえる露天風呂

夕食の一部。
自家製古代米のご飯、
イワナの笹蒸し、皆瀬牛の朴葉焼き



「どうだん」の間はメゾネットタイプ。1階は和室と専用風呂。2階は寝室。心からゆったりとできる



2階



1階

RYOKAN TAROBEE

施設のご案内

- 客室 26室
- 宿泊人員 135名様
- 駐車場 完備
- 大浴場 「殿の湯」「姫の湯」(共にサウナ付)
- 露天風呂 殿方「天の川」 婦人「天の川」
- 大宴会場「舞殿の間」 ●中広間
- コンベンションホール「栗駒の間」

お一人様1泊2食付 10,000円より(税別)

旅館 多郎兵衛

〒012-0182

秋田県雄勝郡皆瀬村小安峡温泉

TEL.0183-47-5016 Fax.0183-47-5047

ホームページアドレス <http://www.tarobee.com/>



小安峡地区の観光のハイライトはなんと言っても「大噴湯」。深い峡谷の谷底で、岩盤の割れ目からこう音をたてて熱湯と蒸気が噴き出すさまは壮観だ。しかし、大噴湯の場所までは長い石段を下り、また上つてこなければならぬ。高齢者や小さな子どもには少しきつい。また、冬場は大噴湯に向かう石段自体が閉鎖になってしまう。その点、この鶴泉荘の谷側に面した部屋をとれば、部屋にいながらにして四季折々の美しい峡谷の景観と大噴湯（少し遠目だが）を眺めることができる。大浴場や露天風呂も峡谷に面して設けられている。年配の親御さんを伴っ



小安峡の峡谷美を楽しむ宿

◆鶴泉荘◆



小安でもっとも大きい宿「鶴泉荘」。館内施設も充実

谷側の部屋では窓から小安峡が眺められる



大噴湯をイメージしてつくられた「大噴湯鍋」は皆瀬牛のしゃぶしゃぶ



広々とした大浴場

なつていて、食事の際に会食場に向出く以外は、滞在中の時間をゆつたりと優雅に同伴者と過ごすことができる。また、大浴場とは別に貸切風呂も二室あつて、こちらも二人連れや家族連れのお客に喜ばれている。同行者のいる旅が思い出深いものになるのは言うまでもないが、一人旅のお客も大歓迎のことだ。



清潔感あふれる浴場にも好感もてる



貸切風呂が二室ある。湯は入浴の都度入れ換える

M O T O Y U K U R A B U

施設のご案内

- 客室 13室(全館冷暖房完備)
- 宿泊人員 45名様
- 駐車場 完備
- 貸切露天風呂 ひのき風呂、きはだ風呂
- 大浴場・露天風呂 美里の湯(男湯) 美幸の湯(女湯)

お一人様1泊2食付 8,500円より(税別)

御宿 元湯くらぶ

〒012-0812 秋田県雄勝郡皆瀬村畑等字湯元100-1

TEL.0183-47-5151 Fax.0183-47-5208

ホームページアドレス <http://www.motoyukurabu.com/>

露天風呂から身を乗り出せば目の前は深い谷間



こんなところにこんな店があったのかと誰もが驚く



名物の自家焙煎たんぼぼコーヒー (400円・税込)。おまけはポングリの実



佐々木さんは店を奥さんに任せ、日本中を仕入れに駆け回る時も

諸国民芸雑貨 重右衛門



村内の湧水を使ったオリジナルの赤ワインと日本酒(左から:頼ほんのりわいん720ml 1500円・360ml 800円・むらの誉1600円・湯上がり美人800円、すべて税別)

温泉地にありがちな民芸品店を想像して訪れたら、あまりの意外性に驚くことになる。とにかく品そろえが圧倒的。若いころから日本中を旅した経験を持つ店主の佐々木正二さんが、旅先で目にした古民芸に興味を持つようになり、家業の酒販店の商売のかたわら、自ら全国を飛び回り、藍染めや器類を中心に民芸品や手づくり雑貨などを仕入れて、広めの店内に所狭しと並べている。例えて言うならば、軽井沢のような街にあってもおかしくないような、本格的な上質民芸の店なの

だ。口コミで民芸ファンにはよく知られており、仙台方面からのお客も多い。店内ではコーヒーも出しており、コーヒーを飲みながら掘り出し物のショッピングを楽しむという趣向だ。たんぼぼコーヒーも名物。酒のほうも、限定品など厳選された秋田の地酒を取りそろえていて、入手難な酒でもこの店なら手に入ることもある。また、村内の深山に湧く湧水を使った当店だけのオリジナルの日本酒とワインも販売しており、こちらも一飲の価値あり。

諸国民芸雑貨



〒012-0182

秋田県雄勝郡皆瀬村小安温泉郷

TEL.0183-47-5320 Fax.0183-47-5505

ホームページアドレス <http://www.ju-emon.com>

た家族旅行や招待旅行には喜ばれるだろう。予約の際には谷側の部屋をリクエストできるが、谷側の部屋は全五十三室中十二室のみなので早い者勝ちとなる。

この宿の特別料理の「大噴湯鍋」は面白い趣向だ。内容的には皆瀬牛のしゃぶしゃぶなのだが、大噴湯をイメージして鍋の真ん中から勢いよく蒸気が噴き出す仕掛けになっている。子どもが喜びそうな楽しい鍋である。



客室はゆったりしている

KAKUSENSOU

施設のご案内

- 客室 53室(バス、トイレ付13室)
- 宿泊人員 250名様 ●駐車場 完備
- 大浴場 殿方「白鶴」 婦人「紅鶴」
- 露天風呂
- 宴会場「飛翔」 ●多目的ホール「花木水」
- 小ホール「雛鶴」

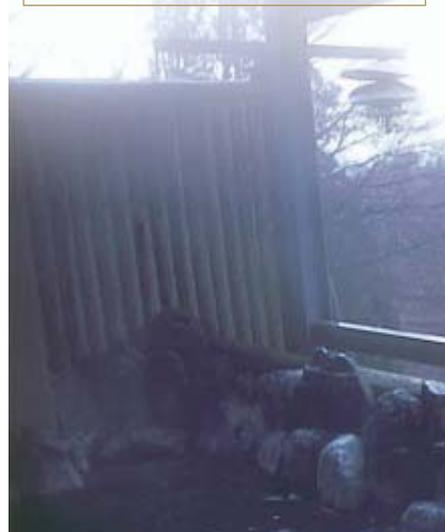
お一人様1泊2食付 9,000円より(税別)

小安観光ホテル 鶴泉荘

〒012-0182 秋田県雄勝郡皆瀬村畑等字湯元41

TEL.0183-47-5011 Fax.0183-47-5252

ホームページアドレス <http://www.oayasukankou.co.jp>



大湯温泉

大湯温泉は小安峡温泉からさらに車で五分ほどの先にある。平成二年から宿は二軒になったがそれまでは長い間一軒宿の温泉だった。昭和五年発行の『日本温泉案内』という本では小安温泉よりも大きく紹介されており、

「熱泉に至る所からほとぼしり出て、谷川に流れ入り、夏などは川全体が適温の入浴場と化すありさまである」とある。山肌に至る所から湯気が上がる火山性の景観は今も変わらない。ここから先は道路もいよいよ山間地

特有の狭い通路になり、温泉のすぐ先の道路上にはゲートがあつて、十一月下旬から翌年の四月下旬まで、異境までが長い冬期閉鎖に入るのだ。

◆阿部旅館◆

秘湯情緒と快適さを両立させた宿

開湯はおよそ二百年前という長い歴史の湯治旅館で、素朴な湯小屋が秘湯ファンに人気が高かったが、本館が老朽化したため昨冬休業して全面改築した。生まれ変わった阿部旅館は、周囲の景観ともマッチする落ち着いた民芸調の建物で、全八室の客室は温水洗浄トイレ付き、館内は極力床面の段差をなくしてバリアフリーとした。ヒノキ風呂の内湯のほか、従来からのレトロな湯小屋、そして川べりに野趣満点の露天風呂がある(いずれも男女別)。

塵を忘れて雪深い山の中の温泉宿で過ごす数日というのも、なかなか悪くなく、一一般の宿泊では一人旅も歓迎。

夏場は峠を越えて仙台方面や首都圏からも秘湯ファンが押し寄せるが、道路の冬期閉鎖が解除になるGW直前までは秋田県側のみアクセスとなり秘湯らしい静寂さに包まれる。この時期に宿では「三泊四日六食付き」一万二千円という格安の「湯治パック」を企画している(二泊でも同一料金。二名より受け付けて四月二十日まで)。読みたかった本を何冊か抱え、俗



館内の趣は民芸調で床面は段差を減らしたバリアフリー設計



昨年4月に改築した阿部旅館



客室は全室温水洗浄トイレ付きでたいへん快適

ABE RYOKAN

施設のご案内

- 客室 和室8室(全室温水洗浄トイレ付・冷暖房完備)
- 宿泊人員 30名様
- 駐車場 完備
- 男女別 野天風呂、露天風呂、今昔風呂、ひのき風呂(内湯)
- 混浴 天然川風呂(6~9月、晴天時に限る)

お一人様1泊2食付 10,000円より(税別)

大湯温泉 阿部旅館

〒012-0182
秋田県雄勝郡皆瀬村奥小安国有林34
TEL.0183-47-5102 Fax.0183-47-5838

野趣満点!川べりの露天風呂



夏場は川も天然の露天風呂になる



以前からの名物だった湯小屋は健在

◆ 民宿 よし川 ◆

飲用効能が注目の稀少泉質温泉

平成二年開業の新しい温泉宿。八室の客室は皆瀬川上流部の溪流に面して、部屋から手付かずの自然景観の借景を楽しめる。この宿の最大の自慢は、独自に引いている温泉の泉質（ナトリウム・塩化物・硫酸塩泉）に飲用の効能があるということ。検査機関による正式な飲用適応症の報告もあるのだが、実際に宿泊した人の体験で

も、糖尿病の人の血糖値が下がったとか長年苦しんでいた便秘から解放されたとか、感謝の手紙がすいぶん寄せられているようだ。便秘が解消するということは美肌効果も期待できるわけで、女性にはうれしい温泉。民宿という形態のため宿泊料金も手ごろで、その点でも何度でも足を運びやすい。健康の不安解消、健康増進のために一

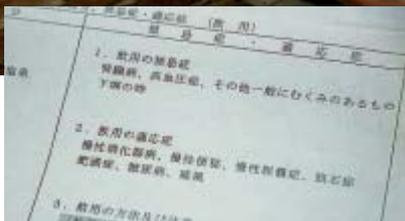
度この宿の湯の泉質を試してみてもうだろう。

地元育ちの主人はあたりの山のことにとても詳しく、自分で山に入つていつお客に出す天然の食材を採ってくる。おぜんの上の料理に、大自然の恵みの豊かさを垣間見ることができ

（写真真ん中よりゆめバス）秋田市



浴場も溪流に面している



正式に飲用許可もとっている。便秘によく効くとか

客室からは皆瀬川の溪流、そして対岸の山肌が借景になる

MINSYUKU YOSHIKAWA

施設のご案内

- 客室 8室（和室7、洋室1）
- 宿泊人員 35名様
- 駐車場 完備
- 大浴場

お一人様1泊2食付
平日 5,800～8,800円（税別）
休前日 8,800円（税別）

小安山荘
民宿 よし川

〒012-0182 秋田県雄勝郡皆瀬村大湯
TEL.0183-47-5253



客室は全室溪流に面して
いて窓からの眺めもい



宿の周りは地熱があつて
思いがけない季節にふき
のとうが芽を出す

